

千代田区気候変動適応計画 の策定について

計画策定の背景と目的

- 気温上昇や大雨の頻度の増加、熱中症や水害リスクの増加
- 千代田区においても気候変動による影響が現れている
- 2018（平成30）年に気候変動適応法が成立
- 千代田区の区域の特徴に応じた適応策を推進するため
- 地球温暖化の要因である温室効果ガスの排出を削減する対策（緩和策）に加え、地域特性を踏まえた気候変動の影響による被害の回避・軽減対策（適応策）を推進するため、地球温暖化対策条例に気候変動適応策を位置づけ

計画期間と将来像

○計画期間

2021（令和3）年度～2030（令和12）年度（10年間）

○将来像

いつまでも安心して住み働き続けられる強く魅力あるまち

区・区民・事業者や関係機関等が一体となって適応策に取り組むことで、
気候変動の影響による被害をできる限り回避・軽減し、千代田区に住み、働く人々が
安心して生活・活動できるまちをめざす。

千代田区が優先的に取り組む分野・項目

- 水環境・水資源**（水供給）
 - 自然災害・沿岸域**（洪水・内水・海面上昇・高潮・高波・強風等）
 - 健康**（死亡リスク・熱中症・脆弱集団）
 - 産業・経済活動**（製造業・エネルギー・商業・金融・保険・観光・建設・医療等）
 - 国民生活・都市生活**（暑熱による生活へ影響等）
- ※ 「分野別基礎情報」で千代田区における各分野の現状を整理
「気候変動の影響評価」で国の影響評価と地域特性を踏まえて分野・項目を抽出

気候変動の影響評価の実施フロー

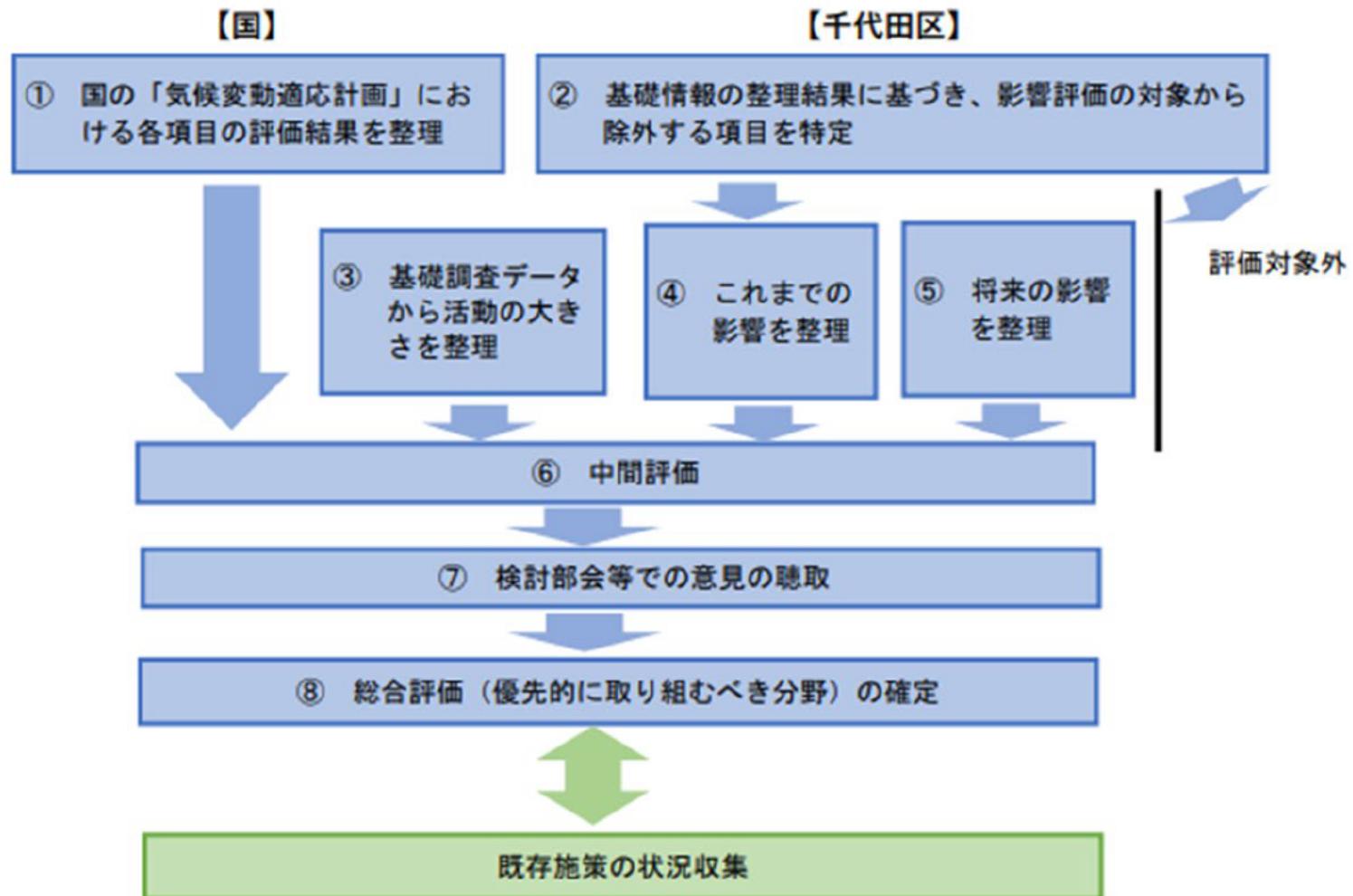


図 気候変動の影響評価の実施フロー

気候変動影響評価（抜粋）

小項目	①国における影響			千代田区における影響					中間評価点数	検討部会の意見 (優先的分野に◎)	最終評価 (優先的分野に◎)
	重大性 (3点)	緊急性 (3点)	確信度 (3点)	②該当分野の活動の有無	③数値等から見た区の特徴的な分野(3点)	④これまでの気候変動の影響(3点)	⑤将来の気候変動の影響(3点)	備考			
湖沼・ダム湖	●	▲	▲	○	●	○	○	各濠・淵 水温上昇や水質変化は気候変動だけでなく都市化の影響もあるとされる	12		
河川	◊	□	□	○	●	○	○	神田川、日本橋川 水温上昇や水質変化は気候変動だけでなく都市化の影響もあるとされる	8		
沿岸域及び閉鎖性海域	◊	▲	□	✗					除外		
水供給(地表水)	●	●	▲	○	●	○	○	神田川、日本橋川	13	◎	◎
水供給(地下水)	◊	▲	□	○	○	-	-		5		
水需要	◊	▲	▲	○	●	○	○	昼間人口の多さ(以下同)より判断 区内の水道使用量(又は水道料金徴収額)のデータが存在しないが、気温と水使用量の関係、将来の気温上昇率から判断	10		

基本方針・施策の体系

将来像：いつまでも安心して住み働き続けられる強く魅力あるまち

基本方針 1：気候変動に強いまちづくりの推進

自然災害

- 1-1 水害対策の推進 (☆)
- 1-2 強風への対策の推進 (☆)
- 1-3 土砂災害対策の推進

健康

- 1-4 熱中症への対策の推進 (☆)
- 1-5 感染症対策の推進
- 1-6 大気汚染による健康被害への対策の推進
- 1-7 高齢者や子どもへの影響に関する対策の推進 (☆)

水
水
環
資
境
源
・

- 1-8 渴水対策の推進 (☆)
- 1-9 水環境に関する対策の推進

基本方針 2：魅力あるまちづくりの推進

生活

2-1 暑熱対策の推進 (☆)

経産
済業

2-2 企業活動に関する対策の推進 (☆)

自然

2-3 自然生態系に関する対策の推進

基本方針 3：気候変動適応の推進にかかる体制作り

3-1 気候変動適応にかかる意識啓発の推進

3-2 気候変動に関する情報収集・分析

3-3 複合災害への対策の推進

3-4 関係機関・部署との連携

対応力の整理

- ・ 区が実施してきた適応策について、進捗状況を整理・分析
- ・ 適応計画の施策を検討する上で、既存施策が将来予想される気候変動の影響に対して十分な対応力を持っているかを整理
- ・ 対応力の整理をもとに、新規または追加的な適応策を検討する必要があるかなどの方向性を整理

対応力の整理フロー①

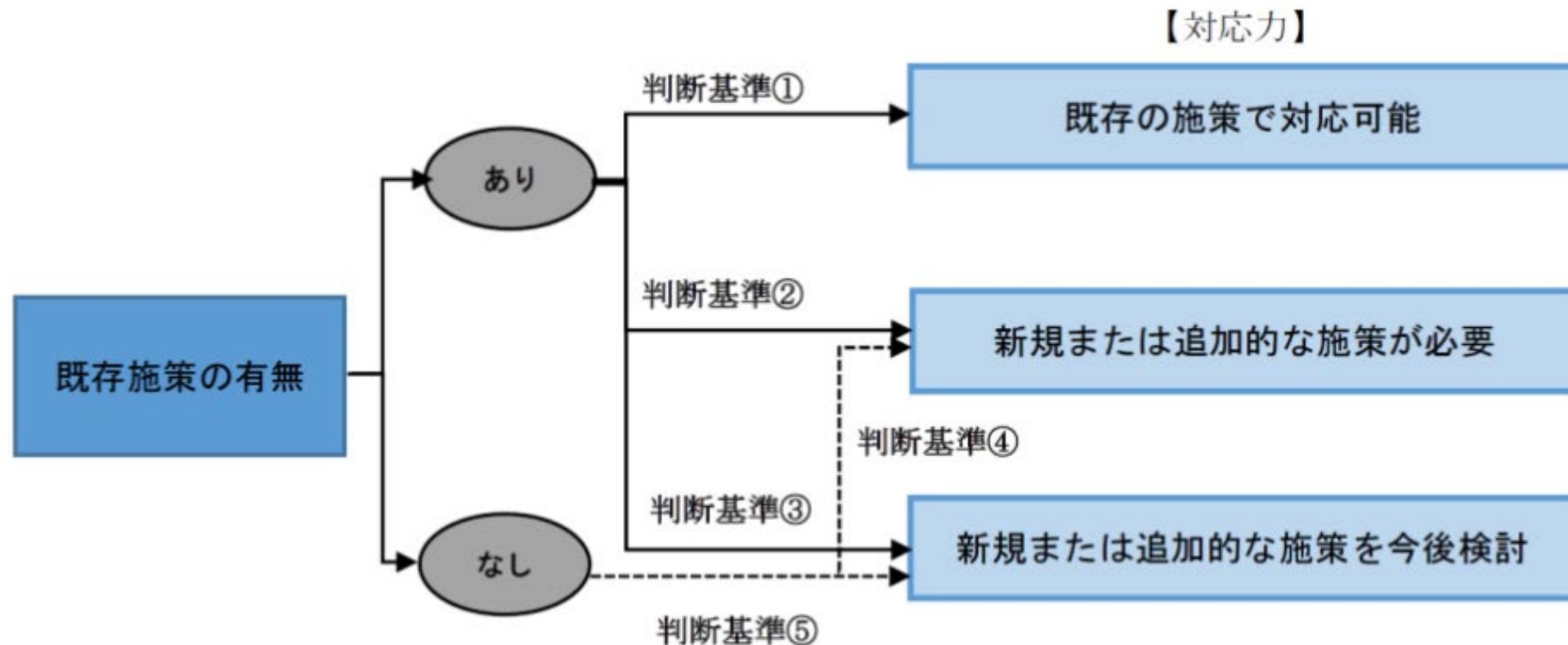


図 対応力の整理フロー

対応力の整理フロー②

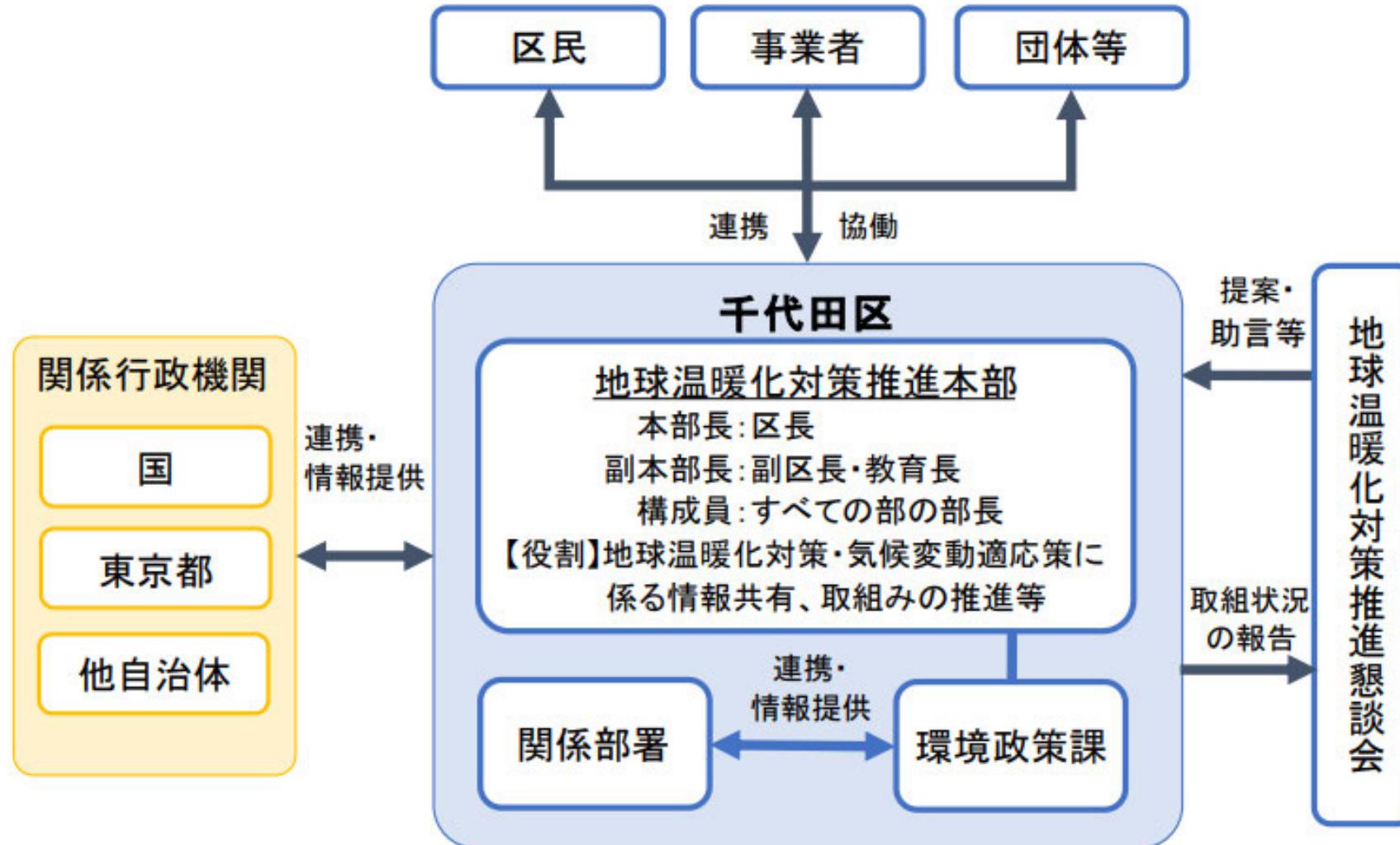
表 対応力の判断基準

判断基準①	<ul style="list-style-type: none">将来予想される気候変動を踏まえた対策検討が実施されている
判断基準②	<ul style="list-style-type: none">既存施策では短期的(～5年程度)に対策が不足すると予想される
判断基準③	<ul style="list-style-type: none">既存施策で短期的(～5年程度)には対応が可能だが、中長期的には見直し等が必要だと予想される
判断基準④	<ul style="list-style-type: none">既存施策がなく、短期的(～5年程度)に大きな影響が出ることが想定されるため、早急な施策の実施が必要と予想される
判断基準⑤	<ul style="list-style-type: none">既存施策がなく、短期的(～5年程度)には大きな影響が出ることが想定されないため、新規施策を今後検討する

対応力の整理フロー③

分野	項目	対応力	判断理由
生活・健康	暑熱による生活への影響 (区における現行のヒートアイランド対策)	既存の施策で対応可能(必要に応じて充実)	地球温暖化による気温上昇とヒートアイランド現象の重なりによる影響が懸念されるが、必要とされるヒートアイランドの対策は現行と変わらないと考えられる。
	熱中症	新規または追加的な施策が必要	気温の上昇により熱中症の発生件数の増加や死亡リスクの高まりが懸念される。特に高齢者や基礎疾患のある区民等への対策を充実させる必要がある。
自然災害	洪水・内水等	新規または追加的な施策が必要	台風や短時間強雨等の増加が見込まれており、啓発やハード面の対策等の充実が求められている。
	強風	新規または追加的な施策を今後検討	台風や竜巻等の強風による今後の影響への対策を検討する必要がある。
水資源	渇水	新規または追加的な施策を今後検討	渇水に関する今後の影響への対策を検討する必要がある。
産業・経済	企業活動	新規または追加的な施策を今後検討	気候変動による影響を物理的リスク・移行リスクの両面から研究し、対策を行う必要がある。

千代田区における計画の推進体制



計画の進捗を管理するための主な指標

分野	毎年度進捗管理する主な指標 (アウトプット指標)	3~5年に一度検証する主な指標 (アウトカム指標)
自然災害	●建築物の浸水対策に関する協議件数	●浸水被害件数 ●土砂災害発生件数
健康	●高齢者の熱中症予防訪問件数 ●暑さ指数（WBGT）の測定・掲示件数	●熱中症救急搬送者数 ●超過死亡者数※ ※直接・間接を問わずある疾患により総死亡がどの程度増加したかを示す指標
水資源・水環境	●節水に関する普及啓発の実施（チラシの配布枚数、区ホームページ・広報紙への掲載件数等） ●河川・濠池等の水質監視調査の実施（箇所数、回数等）	●節水に取り組む区民の割合 ●河川・濠池等の水質監視調査における環境基準適合回数
生活	●緑化指導における緑化受理件数 ●ヒートアイランド対策助成制度の助成件数 ●区有施設への日除け・ドライ型ミスト等の設置件数	●緑化指導における緑地創出面積・緑化面積基準適合割合
産業・経済活動	●事業者向け普及啓発の実施（チラシの配布枚数、区ホームページ・広報紙への掲載件数等）	●気候変動適応に取り組んでいる事業者の割合
自然生態系	●生きものモニタリング調査の実施（箇所数、回数等）	—

計画策定までの経過①

△	時期	内容	
		「千代田区地球温暖化対策地域推進計画 2015」の改定	(仮称)「千代田区気候変動適応計画」の策定
第1回地球温暖化対策推進懇談会	令和元年 10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 千代田区の地球温暖化対策の取組み ■ 千代田区の地球温暖化対策の検証について ■ 区内 CO₂ 排出量の推移・増減要因分析について ■ 区の主な取組みの検証結果 ■ 地球温暖化対策に関する課題のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域気候変動適応計画策定に向けた検討について
第1回検討部会	令和2年 1月10日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 千代田区の地球温暖化対策の検証について ■ 区内 CO₂ 排出量の推移・増減要因分析について ■ 区の主な取組みの検証結果 ■ 地球温暖化対策に関する課題のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域気候変動適応計画策定に向けた検討について
第2回検討部会	令和2年 2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地球温暖化対策に係る検証資料 ■ 地球温暖化対策に関する課題のまとめ ■ 千代田区の温室効果ガス排出量の将来推計結果について 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動適応に関する追加調査 ■ 千代田区における気候変動の影響評価結果 ■ 気候変動に関連する既存施策の対応表 ■ 既存施策の気候変動影響への対応力の整理
第3回検討部会	令和2年 3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 千代田区地球温暖化対策の取組みに関する検証(案) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 千代田区気候変動適応に関する検討(案)

計画策定までの経過②

第1回地球温暖化対策推進懇談会(書面開催)	令和2年5月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区全体の平成30年度CO₂排出量 ■ 区有施設の平成30年度CO₂排出量 ■ 地球温暖化対策の検証(概要) ■ 地球温暖化対策の検証(報告のポイント) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動適応に関する検討(概要) ■ 気候変動適応に関する検討(報告のポイント)
第1回検討部会	令和2年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015」の改定について 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区気候変動適応計画」における将来像・基本的な考え方・施策体系等について
第2回検討部会	令和2年10月29日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015」の改定について 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区気候変動適応計画」の策定について
第3回検討部会	令和2年12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」計画骨子(案) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区気候変動適応計画2021」計画骨子(案)
第4回検討部会	令和3年2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」素案 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区気候変動適応計画2021」素案
第1回地球温暖化対策推進懇談会(書面開催)	令和3年2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」素案(概要) ■ (仮称)「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」素案(本編) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ (仮称)「千代田区気候変動適応計画2021」素案(概要) ■ (仮称)「千代田区気候変動適応計画2021」素案(本編)
—	令和3年8月	(パブリックコメント実施)	(パブリックコメント実施)
—	令和3年11月	(計画決定)	(計画決定)